

1. 企業概要

会社名	イシズエデンセン 礎電線(株)	代表者名	代表取締役社長 田中 友則
事業内容	エナメル焼付線の製造	窓口担当	営業企画部 小谷野 賢介
主要製品	平角線・リッツ線(リッツ線関連商品)・各種焼付線(単皮膜線、自己融着線)	URL	http://www.ishizuedensen.com/
所在地	〒342-0013 埼玉県吉川市大字吉屋718		
国内事業所	-		
海外事業所	-		
電話/FAX番号	048-982-8361 / 048-982-8367	E-mail	koyano@ishizuedensen.com
資本金(万円)	1,000	設立年月	1960年12月
主要取引先	-	売上(万円)	100,000
国際規格	ISO 9001:2015	従業員数(人)	42

2. PR事項

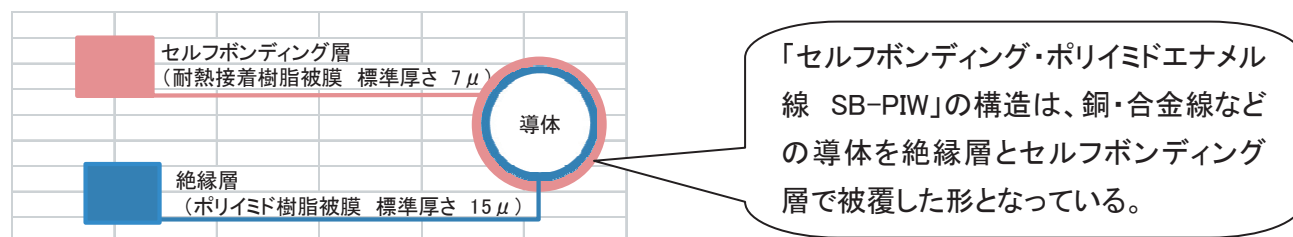
接着力の高温保持性アップ！～新型エナメル線を開発～

接着力の高温保持性に優れた「セルフボンディング・ポリイミドエナメル線SB-PIW」の製品化に成功！

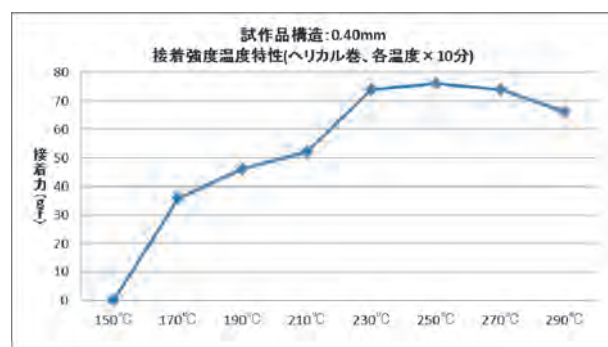
＜特性＞

ポリイミドエナメル線の耐熱性を損なわずに、しかも180℃で接着ができ、その接着力は250℃まで良く保持されるなど、接着力の高温保持性に優れた製品化を実現したものである。接着力の高温保持性に優れた耐熱セルフボンディング・ポリイミド線グレードとなっている。

＜SB-PIW 構造＞



＜接着強度温度特性・接着保持力温度特性 グラフ＞



高温下での接着保持力 (一次接着:ヘリカル巻、180℃×10分)					
接着保持力温度特性(各温度×10分)					
周囲温度	170℃	180℃	190℃	200℃	210℃
接着力(gf)	○	○	○	○	○
	220℃	230℃	240℃	250℃	260℃
	○	○	○	○	×

多重塗装エナメル線として用いる場合、接着用樹脂組成分として適切な素材が少なく、組み合わせる樹脂組成物によっては、ポリイミドエナメル線が持っている高い耐熱性を損なう難点があった。これまでもポリイミド系樹脂組成物を接着層に用いたセルフボンディングエナメル線は報告されているが、接着に 240℃以上の高温で加熱する必要があり、広く利用されるまでには至っていない。今回開発した製品は、こうした課題をクリアしており今後、多岐にわたるニーズが期待できる。

3. 特記事項

- 弊社のマグネットワイヤには下記の特徴があります。
 導体径・仕上径の寸法が正確であり、豊富なラインナップを取り揃えている為、様々な顧客ニーズに対応可能である。
 また、少ロットから大ロットまでそれぞれの生産に適した機械を多数用意している為、幅広いロットでの受注生産が可能である。